

平成29年度 社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会 事業計画

近年、認知症高齢者やひとり暮らし高齢者の世帯が増加しており、また、超少子高齢社会における生活支援ニーズの多様化や地域のつながりの希薄化にともなう社会的孤立も見られます。このような状況の中、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。

一方、経済情勢の変化のなか、就労困難者やワーキングプアなど雇用環境に起因する格差も社会問題として浮き彫りになり、貧困を背景とする深刻な福祉課題も顕在化してきており、生活困窮者支援のあり方が問われています。

また、国が進める社会福祉法人制度改革に基づき、経営組織のガバナンス強化や財務規律の強化に取り組む必要があります。

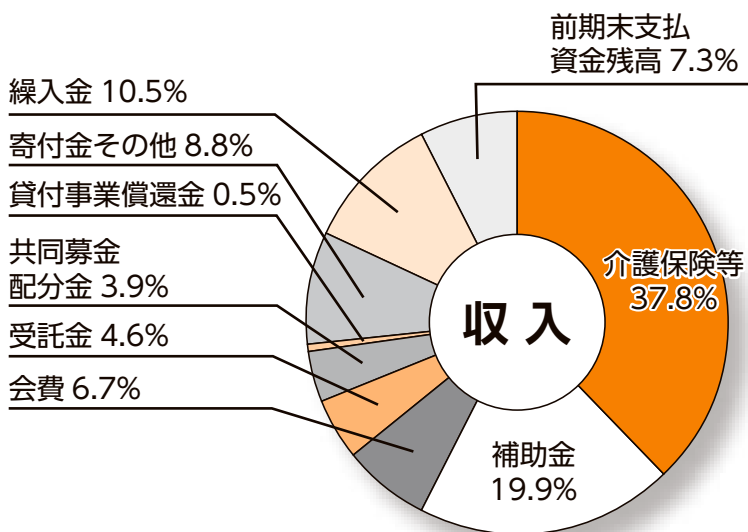
こうした中、地域福祉推進の中核的な機関である社会福祉協議会の役割はさらに大きくなってきています。そのため、住民の多様化するニーズに柔軟に対応できるように、行政をはじめ関係機関、民間諸団体等と一層連携を強め、きめ細かな地域福祉活動の推進とネットワークづくりを推進し、住民一人ひとりが暮らし続けたいと思うまちづくりに取り組んでいかなければなりません。こうした次世代の福祉社会を見据えて、P.2の基本方針により住民に信頼される福祉サービスに取り組んでいきます。

平成29年度 資金収支予算額 805,346,000円

収入

(単位：千円)

介護保険等	304,460
補助金	160,281
会費	54,210
受託金	37,003
共同募金配分金	31,063
貸付事業償還金	3,880
寄付金その他	70,533
繰入金	84,909
前期末支払資金残高	59,007
合計	805,346



支出

(単位：千円)

居宅介護等事業	392,748
法人運営事業	158,710
ふれあいのまちづくり推進事業	55,305
居宅介護支援事業	53,940
共同募金配分金事業	45,295
相談支援事業	35,672
ボランティアセンター活動事業	12,072
日常生活自立支援事業	10,728
県社協・一宮市受託事業	8,653
資金貸付事業	7,483
自販機設置事業	3,003
基金運営事業他	21,737
合計	805,346

